

令和 7 年度日本道路協会会長奨励賞

自らの創意工夫を加え、その後の業務遂行に多大な成果をあげた若い技術者を表彰し、道路技術の進展に寄与することを目的として、平成 26 年度より「日本道路協会会長奨励賞」を開設いたしました。

各関係機関を通じて候補者の募集をしたところ、42 件の応募があり、令和 7 年度の受賞者は以下の方々に決定致しました。

受賞者 西村 俊樹 氏

勤務先 熊本県

功 績 世界的半導体企業の熊本進出に伴う大規模道路整備事業において、全体の統括を担い、多方面にわたる関係機関および地域住民との協議を主導し、事業を迅速に推進するとともに、地域産業基盤の強化と交通渋滞の解消に貢献されました。

受賞者 櫻井 勇太 氏

勤務先 瀧上工業株式会社

功 績 国道 473 号橋梁改築工事において、早期劣化が懸念されていた鋼橋に対して、機械化施工と DX 技術によるリアルタイム遠隔管理を活用し、RC 床版の耐久性向上に寄与するとともに、DX 技術の導入が進みづらい自治体への適用可能性の拡大に貢献されました。

受賞者 中野 貴文 氏

勤務先 株式会社 NIPPO

功 績 国道 18 号碓氷^{うすい}バイパスの舗装修繕工事と交差点改良工事において、多岐にわたる安全対策を行い、工事を円滑に遂行しました。また、近隣小学校の児童を対象に出前授業を行い、道路の役割や工事の必要性を周知する活動に貢献されました。